

1 名古屋市立工芸高等学校 デザイン科（東区）

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	名古屋市立工芸高等学校 デザイン科
2 事業名	名古屋市立工芸高等学校生徒による自主防犯ポスター作成事業
3 事業実施結果	<p>1. 本事業の経緯</p> <p>痴漢被害は、個人の尊厳を踏みにじる重大な犯罪行為であり、通学や通勤など、日々の生活の中で突如その被害にあった当事者は深く傷つき、その恐怖や苦痛、心身に及ぼす影響は甚大であるものの、未だに有効な抑止方策はないのが現状でした。</p> <p>警察で認知する痴漢被害の件数は氷山の一角であり、潜在的な被害者ははるかに多いと思われ、高校生にとっても決して他人事ではなく、自らが被害の当事者となるおそれも十分にあります。</p> <p>通勤通学途中の痴漢被害は、全て最も混雑する乗降部ドア付近で発生しており、被害時は身動きもできないくらいの混雑で、やり場のない乗客の目線が自然と列車内の広告物に向くことから、乗降部ドアの上に痴漢被害防止に関する啓発ポスターを掲示することで、まさに痴漢被害が発生する、その場・その瞬間における直接的な注意喚起を図るために、名古屋市立工芸高等学校デザイン科の生徒が自主的に痴漢防止啓発ポスターを作成することとしたもの。</p> <p>なお、掲示する鉄道は、名古屋市立市工芸高等学校の生徒が多く利用し、かつ沿線が長くて多くの乗客が利用するJR中央線の車両内に掲示することを検討することとしました。</p>

2. JR東海との打ち合わせ

JR東海に対し、本事業について打ち合わせをしたところ、これまでは鉄道警察隊などが作成したポスターを駅構内などに掲示していたが、JR東海としてはこれまで列車内に直接掲示したことはなく、全国的にも極めて異例な取り組みということでした。

そもそも列車内の掲示物は、本来広告費を徴収して掲示するもので、鉄業事業における重要な収益の一部と捉えられていたことから、当初は本事業について難色が示されたものの、その後も粘り強く担当者と交渉を重ねた結果、列車内での直接的な犯罪防止に資する観点から、広告費は徴収せずにJR中央線の列車内の乗降部ドアの上に啓発ポスターを掲示することの了承が得られました。

また、掲示期間については4種類のポスターを作成し、一つのポスターを2ヶ月間掲示して、合計の掲示期間は8か月とすることとなりました。

3. 協賛企業などについて

中央線を走行する全ての列車内に掲示するには、1種類ごとに350枚のポスターが必要とのことでした。

本事業費については、ポスターの印刷代金やインク代などに当てることとしましたが、JR東海からは「広告費はいらないが、列車内のポスターを付け替える人件費は別会社が担当しており、どうしても人件費代は必要となります」とのことでした。

よって、人件費代を捻出するため、名古屋市スポーツ市民課、東区役所地域力推進室、セコム株式会社、東区防犯連合会に本施策を説明した上で人件費代の負担依頼を依頼したところ、了承を得られたため、ポスターには人件費代を負担した関係機関名を記載することにしました。



ポスターを作成する風景

4. ポスターの作成

JR東海から、ポスターの内容について、「犯人に対してというよりも、どちらかといえば被害者や他の乗客に対して呼びかける内容にしてほしい」という要望を受けていたことから、その要望をデザインに取り入れてデザイ

ン科の生徒全員がそれぞれ1種類のポスターを作成しました。

完成した全てのポスターをJR東海に持ち込み、JR東海の幹部をはじめ、女性社員の方々にも多く見てもらい、最終的に4種類のポスターが選定されました。



最終的に選定された4種類のポスター

5. 東警察署から感謝状を贈呈

8月9日、東警察署において、本事業に対する感謝状贈呈式が開催されました。

贈呈式には、名古屋市立工芸高等学校デザイン科の生徒のほか、JR東海の担当者など関係者が多数出席し、生徒は報道機関からのインタビューを受け、その内容は新聞やテレビなどで取り上げられました。



東警察署長から感謝状の贈呈



デザイン科の生徒で記念撮影



報道機関から取材を受ける状況

3 事業実施
結果



中京テレビで放送された内容

6. 事業実施の成果

8月10日からJR中央線の列車内にポスターの掲示を開始しました。東警察署において、8月10日から10月31までの3か月間、JR中央線内の痴漢被害の認知はなく、(前年同期は3件の被害を認知)本事業の効果が認められました。

また、愛知県内はもとより、中央線が走行する広範囲な利用者に対して痴漢被害に対する注意喚起を図ることができました。

4 成果と課題
及び今後の
取組み

今後の取組み

令和5年4月、内閣府から関係省庁に対し「痴漢撲滅に向けた政策パッケージ」が示され、現在関係機関が各種施策を実施していますが、本事業は学生と鉄道事業者が連携し、さらに本事業に賛同した自治体や企業からも資金を得るなどした結果、広範囲に痴漢撲滅に向けた意識が向上できた好事例であり、実際に効果も認められています。

また、列車内に直接痴漢防止啓発ポスターを掲示することは、全国初の施策であったことから、今後は中央線に限らず、他の沿線や地下鉄などにおいても啓発ポスターを掲示することを検討中です。



J R 中央線の列車内に掲示した状況